

第2学年 国語科学習指導案

日時 平成26年9月30日(火)

場所 盛岡市立緑が丘小学校

学級 2年4組 男14名 女14名

指導者 教諭 佐々木 史

単元名 『とうじょうじんぶつと自分をくらべて読もう』

中心学習材 『わたしはおねえさん』(光村図書年下)

補助学習材 『すみれちゃん』『すみれちゃんは1年生』『すみれちゃんのあついなつ』
『すみれちゃんのすてきなプレゼント』(偕成社)

<主となる指導事項>

◎文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。(読才)

<付けたい力>

○登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、自分の経験と比べながら感想を書く。

<単元を貫く言語活動>

◎登場人物と自分を比べて読み、感想を書く。

1 子どもと単元について

(1) 子どもの実態

子どもたちは、「読むこと」の学習として、『ふきのとう』では、動作化を通して人物の行動を中心に場面の様子を想像し、役に分かれて音読した。『スイミー』では、登場人物の行動から想像を広げて場面ごとに読み、気に入ったところを友達に紹介した。『黄色いバケツ』では、登場人物について自分の経験と結び付けながら読み、気に入ったところを友達に紹介した。これらの学習から、子どもたちは、登場人物について自分の経験と結び付けながら読むことができるようになってきている。しかし、登場人物と自分を比べて得た思いを感想にまとめる経験は少なく、指導を重ねていく必要がある。日常においては、進んで図書室に足を運んだり学級文庫やブックトラックの本を借りたりしながら楽しんで読書に親しむ子どもが多いが、読んでいる途中で飽きてしまい、じっくり本の世界に浸ることに慣れていない子どももいる。

(2) 学習材について

中心学習材『わたしはおねえさん』は、教科書のための書きおろしであり、主人公は2年生のすみれちゃんである。十月の日曜日、ちょっと目を離した隙に、妹のかりんちゃんに宿題ノートに落書きされたすみれちゃんが、葛藤しつつも穏やかに対応するという物語であり、自分の行動を振り返りながら主人公に共感し、楽しく読み進めていくことができる作品である。また、並行読書として扱う「すみれちゃん」シリーズは、かりんちゃんの誕生からすみれちゃんの入学、進級とすみれちゃんの成長を捉えることができる作品である。かりんちゃんとの関わりを中心としながらも、すみれちゃんと両親の関係や学校生活における友人との関係についても生き生きと描かれており、弟や妹のいない児童にとっても共感しながら感想をもつことができるため、この学習材を読むことで、子どもの興味・関心を高めることができると考える。

(3) 言語活動の特徴と系統性

本単元では「登場人物と自分を比べて読み、感想を書く」ことを、単元を貫く言語活動として設定する。「感想を書く」ために、登場人物の行動や会話、心情を表す表現に着目して読み、自分の経験と重ねることで、個々の思いや考えを明確にすることができる。この言語活動を通して、自分の思いや考えをもつことに強く影響した言葉や文と自分の経験とを結び付けて、思いや考えをまとめる力を育てることができる。

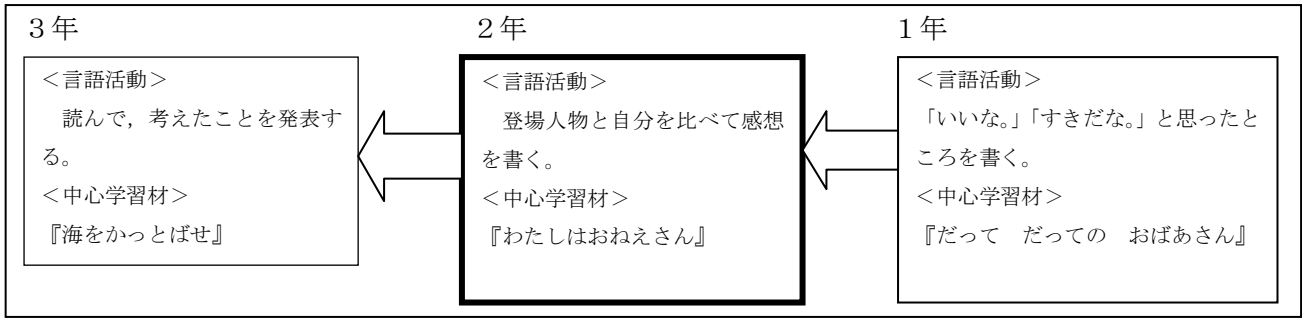
<表現様式の構成要素>

- ・登場人物の紹介
- ・あらすじ
- ・心にのこったところと理由
- ・感想(自分との比較)

<読みの観点>

- 想像を広げながら読む力
 - ・登場人物の行動
 - ・登場人物の会話
- 意味による語句のまとまりに注意して読む力
 - ・心情を表す表現

本単元までの「感想」に関する言語活動の指導の系統は、以下の通りである。



(4) 指導に当たって

指導に当たっては、次の三つを大切にす。

一つ目は、「自分と比べて感想を書く」という言語活動に対する意識を明確にもって、主体的に学習に取り組むことができるようにすることである。そのために、第一次では、「すみれちゃんシリーズ」を読み聞かせ、登場人物に関心をもち、中心学習材を読むことへの意欲をもたせたい。また、『お手紙』のがまくんについてまとめた感想モデルを提示し、本単元では、登場人物と自分を比べて読むことや、行動の変化を想像して読むことが必要であることに気付かせ、学習材を読むことへの課題意識を明確にもたせたい。

二つ目は、登場人物と自分を比べて読む力を高めることである。そのために、第二次で、中心学習材を読むときに、登場人物と自分を比べて読む視点（登場人物と同じところ・似ているところ、違うところ）を提示し、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、自分と比べながら読み進めていくこととする。自分と比べながら読むとは、「出来事や心情において登場人物と同じ（似た）経験をもつか」に気を付けて読むという見通しをもちながら、すでにもっている知識や経験と結び付けて読む力を高めていきたい。また、「自分だったら」と比較しながら読む活動を取り入れることで、登場人物の心の葛藤と成長に気付き、文章の内容と自分の経験や問題意識と結び付けて読む力を更に高めていきたい。

三つ目は、登場人物と自分を比べて感想を書くことである。そのために、登場人物の行動や会話、心情を表す表現から、登場人物と同じところ・似ているところ、違うところを「心にのこったところ」として書き抜く活動を行う。その中で、「一番心に残ったところ」について、自分の考えを書きまとめる。その際には、自分のもつ経験を十分に想起し、感想の構成要素に合わせて段階に分けて記述できるようにする。書いた感想は、リーフレットにまとめる。リーフレットには、登場人物紹介、簡単なあらすじ、心にのこったところと理由、自分と比べた感想を記載する。この学習を通して、登場人物について、自分の考えを経験と結び付けて表現できるようにしたい。

2 単元の指導目標

- 登場人物の行動を中心に、自分の体験や気持ちと結び付けながら興味をもって読もうとしている。
【国語への関心・意欲・態度】
- 登場人物の行動や会話、心情を表す表現から想像を広げて読み、自分の経験とそのときの気持ちを結び付けて、感想をもつことができる。
【読むこと オ】
- 登場人物の行動や会話、心情を表す表現から、「心にのこったところ」を書き抜くことができる。
【読むこと エ】
- 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ（ウ）】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<p>○登場人物と自分を結び付けながら、興味をもって読もうとしている。</p>	<p>○自分の経験と結び付けながら、登場人物に対する感想をもっている。</p> <p>○物語を読んで、強く心に残ったことなど、大事な言葉や文を見つけ、書き抜いている。</p>	<p>○感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、感想を書く際に用いている。</p>

4 学習指導計画（全9時間）

【主な段階】

第一次
単元の学習のねらいをとらえ、学習の見通しをもつ
（1時間）

第二次
中心学習材
「わたしはおねえさん」を読み、心に残ったところを中心に感想を書きまとめる。
（5時間）

第三次
自分が選んだ「すみれちゃん」シリーズの作品について、感想を書きまとめる。
（3時間）

並
行
読
書

【主な学習活動】

① 登場人物と自分を比べながら中心学習材を読むことへの課題意識をもち、単元の学習を見通す。

<評価>

- ① ・感想文に必要な要素について考えている。《発言・ノート》
- ・中心学習材及び補助学習材を読む視点に気付き、発表している。《発言》

【国語科活用場面】

○登場人物について「すてきなところ」を書き抜き、登場人物に宛てた一言メッセージを書く。「お手紙」

② 作品全体を読んで心に残ったところを発表し合いながら、内容を概観する。

③ 歌を歌っているすみれちゃんの様子を想像し、自分と比べながら読む。

④ かりんちゃんのぐちゃぐちゃの絵を見つけたすみれちゃんの様子を想像し、自分と比べながら読む。（本時）

⑤ 特に心に残ったところについて、感想にまとめる。

⑥ 感想を友達と交流する。

<評価>

- ② 登場人物と出来事に着目して作品全体を読んでいる。《発言・ノート》
- ③ 2年生として張り切って暮らしているすみれちゃんの様子について、自分と比べながら読んでいる。《発言・ノート》
- ④ 怒りたい気持ちを抑えることができたすみれちゃんの様子について、自分と比べながら読んでいる。《発言・ノート》
- ⑤ 特に心に残ったところについて様式に沿って、自分の経験と結び付けながら感想を書いている。《感想》
- ⑥ 登場人物について感想を友達と交流している。《交流》

【他教科等日常活用場面】

○幼い人や友達に温かい心で接すること（親切）について話し合う。（道徳「くまくんのたからもの」）

⑦ 自分が選んだ「すみれちゃん」シリーズの作品で、心に残ったところを中心に考えをまとめる。

⑧ 特に心にのこったところを選び、感想にまとめる。

⑨ 感想を友達と交流し、学習を振り返る。

<評価>

- ⑦ 登場人物について心にのこったところを自分なりの考えをもってまとめている。《発言・付箋・ワークシート》
- ⑧ 特に心に残ったところについて様式に沿いながら、自分の経験と結び付け、感想を書いている。《感想》
- ⑨ 登場人物について感想を友達と交流し、学習を通して身に付いた力を振り返り、まとめている。《交流・振り返り》

【国語科活用場面】

○読んで、考えたことを発表する。（3年「海をかつとばせ」）

【他教科等・日常活用場面】

○自分の成長をまとめる。「大きくなったわたし」（生活科）

○自分と登場人物を比べながら読む。（日常の読書）

5 本時の指導

(1) ねらい

かりんちゃんのごちゃごちゃの絵を見つけたすみれちゃんの行動や様子について想像したことをもとに、自分と比べながら感想をまとめることができる。

(2) 展開

学習活動	学習内容	指導の手立てと評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="180 495 868 573" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>かりんちゃんのごちゃごちゃの絵を見つけたすみれちゃんと自分をくらべながら読もう。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ○学習計画に沿って学習課題の確認を行い単元における本時の位置付けを確かめる。 ○すみれちゃんがしたことと、その理由を考え、自分と比べて感想を書く学習であることを確かめる。
<p>2 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 学習場面の音読をする。</p> <p>(2) 半分泣きそうで、半分怒りそうなすみれちゃんの様子を想像し、話し合う。</p> <p>(3) ごちゃごちゃの絵を見て笑い出したすみれちゃんの様子を想像し、話し合う。</p> <p>(4) すみれちゃんと自分を比べて感想を書く。</p>	<p>《根拠となる叙述》</p> <div data-bbox="528 757 890 1415" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎行動 「もういちど、ノートを見ました。じっと。ずっと。」 「すみれちゃんはわらいました。」 「けしかけて、でもけすのをやめて〜。」</p> <p>・会話 『もう、かりんたら、もう。』 『何よ、これ。』 『あはは。』</p> <p>・心情表現 「自分が、なきたいのかおこりたいのか分かりませんでした。」 「〜かわいく見えてきたのです。」</p> </div> <p>《児童の感想例》 「怒りたかったのに、怒らなかつたすみれちゃんはお姉さんだなあと思いました。自分だったら怒っていたかも知れません。」 「前のすみれちゃんだったら怒っていたと思いますが、がまんできるようになって、もっとお姉さんになったと思いました。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習場面を音読し、内容が想起できるようにする。 ○「心に残ったところ」を書き出した表や、本に貼った付箋を基に考えることができるようにする。 ○内容を概観した掲示と関連させながら、物語の順序に沿って、すみれちゃんの変化を全体で共有できるようにする。 ○すみれちゃんとかりんちゃんの変化のすれ違いから心が通い合うまでに、どのような変化があったのか、「行動」「会話」「心情表現」を比較して具体的に想像できるようにする。 ○すみれちゃんになりきって考えることで、自分の経験と結び付けながら心の動きを考えることができるようにする。 ○すみれちゃんと自分を比べて感じたことについて、感想語彙も使いながら表現できるようにする。 ○書けないでいる子どもには、書き出しを与えたり、様式を示したりして支援する。 <div data-bbox="927 1659 1433 1854" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《評価》 怒りたい気持ちを抑えることのできたすみれちゃんの様子について、自分と比べて読み、感想をまとめている 【発言・ノート】</p> </div>

<p>3 学習のまとめとして振り返りを行う。</p> <p>4 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>《児童の振り返り例》</p> <p>「〇〇さんの発言から、かりんちゃんを怒らなかつたすみれちゃんは、前よりお姉さんになったと分かりました。」</p> <p>「すみれちゃんががまんしたわけを考えることができました。」</p>	<p>○本時の学習を通して「分かったこと」「できるようになったこと」を観点として、感想を発表できるようにする。</p> <p>○この学習を通して身に付いた力が実感できるように、教師による価値付けを図る。</p> <p>○次時は、「心に残ったところ」を感想にまとめ、リーフレットに整理することを確かめ、学習の見通しをもたせる。</p>
---	--	--